

# 鉄砲山古墳整備に伴う危険木・支障木の伐採について

## ○危険木・支障木に対する考え方

特別史跡埼玉古墳群は、文化財であるとともに都市公園「さきたま古墳公園」として多くの樹木が分布しています。整備に当たっては、古墳の保存および眺望の確保を図るために樹木を管理しつつ、丸墓山古墳頂上のサクラなど来園者に親しまれている樹木は保全を図っています。

鉄砲山古墳周辺では、整備開始から50年以上経過し、根が深く入り古墳の周堀を損傷するおそれのある樹木や安全上問題のある樹木、古墳見学の妨げとなる樹木などが数多くあります。令和7年度から着手する整備に合わせてこれら樹木の伐採や剪定を進めてまいります。

## ○令和7年度の伐採

図に示した鉄砲山古墳の周堀上に位置する樹木の伐採を行います。作業はオオタカの営巣期である1月から8月を避けて実施します。

①サクラは近年、特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害により枯損して枝の落下や倒木が発生し、今後も来園者に危険が及ぶため伐採します。

②ケヤキは、オオタカの営巣など自然環境へ配慮しつつ、遺構の保存と古墳への眺望を確保するため、影響の大きい墳丘に近いものは伐採し、その他は枝の剪定を行います。

伐採・剪定樹木にはサクラなど公園樹木が含まれていますが、皆様にはご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

**【お問い合わせ先】さきたま史跡の博物館 史跡整備担当 048-559-1181**

